

豪アカデミー賞  
最優秀作品賞  
他全3部門受賞  
ナショナル・ボード・オブ・レビュー  
最優秀監督賞  
年間作品ベスト10 第6位  
表現の自由賞

お母さんに会いたい。



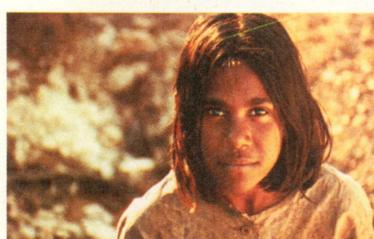
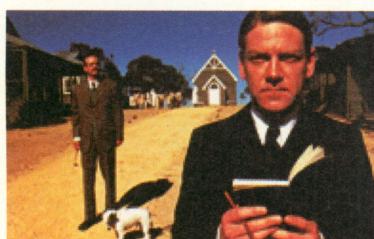
# 裸足の 1500マイル

母の待つ故郷まで、2400キロ。一本のフェンスが、親子の絆をつなぐ—。自分たちを信じて90日間歩き続けた、少女たちの真実の物語。

後援 (社)日本ユネスコ協会連盟

『収容所のほかの子供たちは、母親のことを忘れてしまうほど幼かった。でも、私はそのとき14歳で母をよく覚えていた。家へ、母のところへ帰ったかった。』

モリー・クレイグ (84歳) シガロング、オーストラリア



## 母の待つ故郷まで2400キロ。 一本のフェンスが親子の絆をつなぐ——。

### Story

1931年。当時、オーストラリアでは、先住民アボリジニの混血児たちを家族から隔離し、白人社会に適応させようとする"隔離同化政策"がとられていた。

その政策の対象となり、強制的に収容所に連れ去られた少女3人は、母の待つ故郷へ帰るために、2400キロに及ぶ道程を歩き始めた。執拗な追跡者と大自然の脅威にさらされながら、ありつけの気力を知恵を振り絞る少女たち。頼りは大陸を縦断する1本のフェンスだけ。少女たちの一人であったモリーの娘が綴った真実の物語。

### 世界を揺るがす、民族を超えた 真実のメッセージ

ストーリー・ジェネレーション  
今なお「盗まれた世代」と呼ばれるオーストラリアの悲しい傷跡として語られる先住民アボリジニの秘められた実話を描いた本作は、2月に公開され、豪作品として本年度No.1の興行成績を記録。さらには、豪アカデミー賞の最優秀作品賞を含む全3部門を受賞した。

小さな主演女優たちは、監督が自らオーストラリア全土に及ぶオーディションを経て1200人以上のなかから選ばれたアボリジニの血を引く3人。人を惹きつける少女たちの"強さ"をとらえた映像は、ウォン・カーウァイ作品等で活躍するクリストファー・ドイル。

壮大な大地を駆け抜ける少女たちを包みこむ音楽はピーター・ガブリエルが作曲、本作で最優秀音楽賞を受賞した。

監督・製作: フィリップ・ノイス / 製作総指揮: ジェレミー・トマス『ラストエンペラー』/撮影監督: クリストファー・ドイル『花様年華』/音楽: ピーター・ガブリエル / 原作: ドリス・ビルキンソン『裸足の1500マイル』/メディアファクトリー刊  
出演: エヴァーリン・サンビ、ローラ・モナガン、ティアナ・サンズベリー、ケネス・ブランバー  
提供: ギャガ・コミュニケーションズ×アット エンタテインメント×アミューズメントメディア総合学院×テレビ東京×テレビ大阪  
配給: ギャガ・コミュニケーションズ Gシネマグループ/宣伝: ギャガGシネマ山×樂舎  
後援: オーストラリア大使館、(社)日本ユネスコ協会連盟、平和の文化をさずく会、文部科学省選定作品  
特別協賛: カンタス オーストラリア航空 / 推進: 青少年映画審議会 / サントラCD: 東芝EMI 2002年 オーストラリア / 94分 / シネマスコープ / SRD  
GAGA [www.gaga.ne.jp](http://www.gaga.ne.jp) ©2002 Australian Film Finance Corporation Limited, The Premium Movie Partnership, South Australian Film Corporation and jabal Films Pty Ltd.

はだし  
裸足の  
1500マイル  
RABBIT-PROOF FENCE

大阪市中央区千日前2-11-5 敷島ビル4F

敷島シネボップ1  
敷島シネボップ2  
敷島シネボップ3